

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】中条市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
2	2005.3.30			新潟県	中条町	26,851	84.58
構想の要約		家畜排せつ物、下水汚泥、木質系残さなどから、蒸煮・炭化技術により、燃料や土壌改良資材を生産するなどし、地域産業の活性化、資源循環型のまちづくりを産学官が連携して推進する。					
構想に盛り込まれた事業		蒸煮、炭化プラント整備					
バイオマス利活用目標				添付別紙参照			
バイオマスタウン構想概要図				添付別紙参照			

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他(                      )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他(                      )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(                      )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他(                      )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

現在中条町の基幹産業である農畜産業由来のバイオマス(年間約12万トン)、および生活関連廃棄物の高付加価値変換と一次産業への還元を蒸煮・炭化組み合わせ方式により、廃棄物系バイオマスの100%活用を達成。また、廃棄物系以外の未利用バイオマスについても輸送システムの構築を図りながら将来的に50%程度の活用を達成する。

#### \* 廃棄物系バイオマスの利活用:

1) 下水道汚泥は100%炭化処理による炭素燃料変換を行う。産出される炭素粒は発電ボイラー燃料、栽培ハウス暖房燃料として地域活用する。

2) 家畜糞尿や生ゴミ等については、炭化を基本に一部を未利用バイオマスである農林業廃棄物と組み合わせ蒸煮処理する。1年目は排出糞尿の10%程度、2年目は30%程度を蒸煮処理し、産出される製品の付加価値評価と機能評価を協力大学研究室と連携してすすめる。

#### \* 廃棄物系以外の未利用バイオマス:

野菜等農産物残さ、林地の木質系残さについては畜産飼料等の付加価値蒸煮製品製造のための成分調整材として利用する。

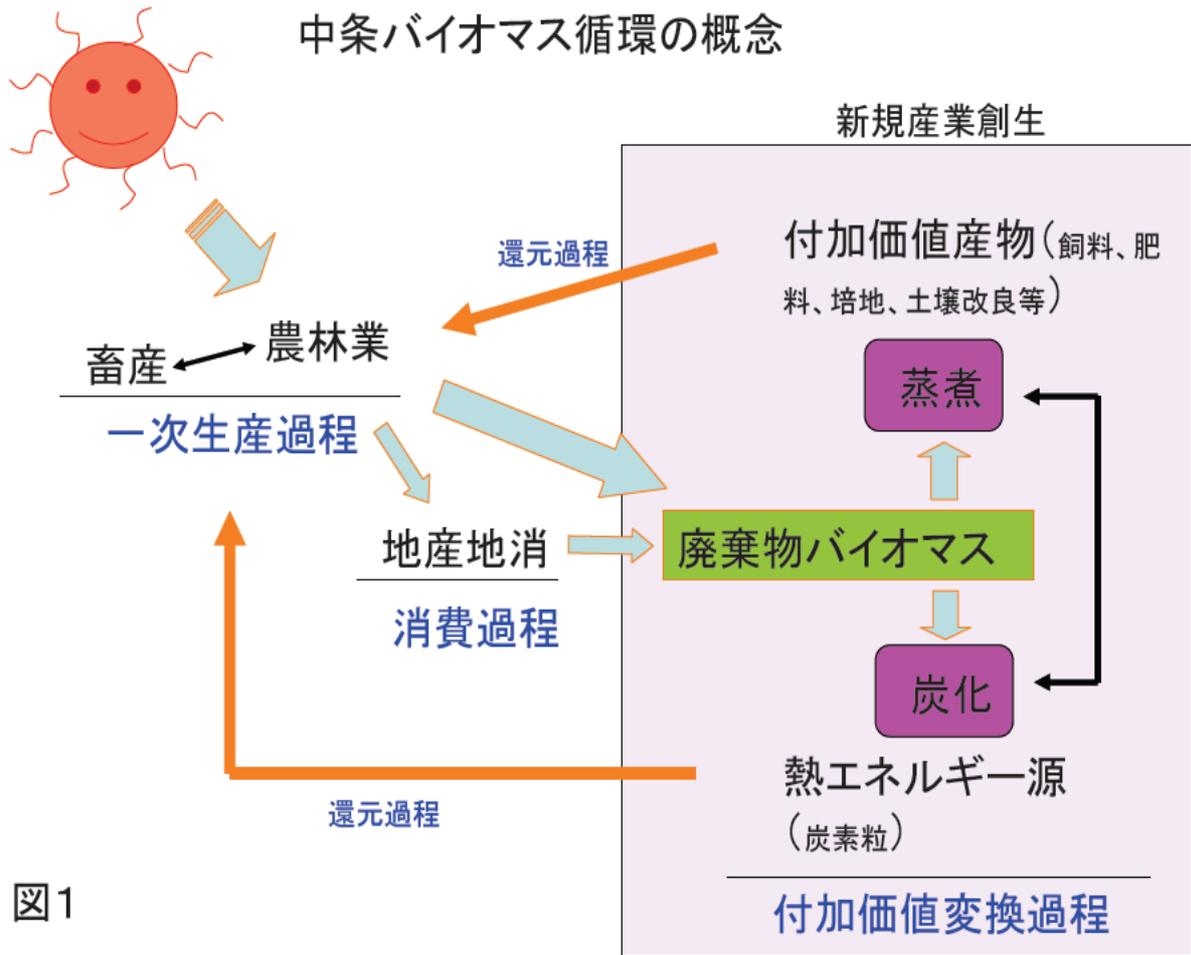


図1

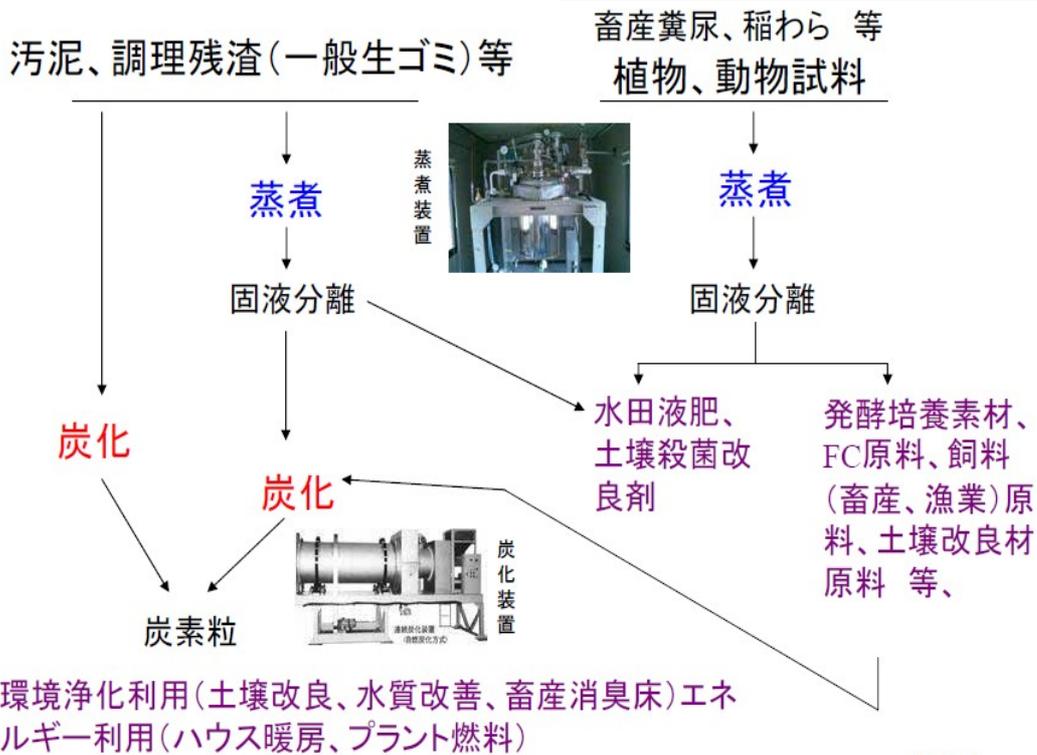


図2

## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--